

315系4両編成でワンマン運転計画

2024年6月6日、名古屋地本は「車側カメラによるワンマン運転の実施について」会社から説明を受け議論を行いました。会社は業務改革の一環としての取り組みである。導入まで期日があるが提案するとしました。組合からは運転士の負担増は確実に安全面の問題を中心に議論を進めました。以下、主な説明とやりとりです。

《会社の主な説明内容》

1. 315系4両編成にて車側カメラによるワンマン運転実施。乗務員関係各所の要員体制見直し。

2. 実施線区・開始時期

関西線・武豊線	R8. 3
東海道線(大垣～米原)	R9. 3
東海道線(豊橋～浜松)	R10. 3

3. 施策による要員効果は別途提示する。

《主な議論》

組合: 飯田線のワンマン運転について飯田線では長大トンネルがあるためワンマン運転が不可能と認識していたが何故、可能になったのか。規程変更がされたのか。

会社: 今回の提案内容でないので資料を持ち合わせていないが、在線検知機能を整備した。

組合: 組合としてはワンマン運転拡大には反対である。業務改革資料では3両編成以上列車のワンマン化とされていた。315系4両ということなのか。

会社: そうである。

組合: 開始時期は3月とされているがダイヤ改正ということなのか。

会社: 予定であるがイメージとしてはダイヤ改正である。

組合: AIの機能は実証されたのか。

会社: 問題なかった。

組合: カメラはホームのみの確認であり後部車両の車内状況は運転士では確認できない。問題である。

会社: 車掌でも前頭車掌は見えない。

組合: 車掌はホームに出て確認している。今回は着座してのドア扱いだ。

組合: 他会社では停止位置を誤りホーム無い状態でドア開とした事象があった。ホーム検知等の対策は取れ

ているのか。

会社:ホーム検知は問題なかった。

組合:津波避難等の誘導は運転士一人では困難である。

会社:乗車している社員や乗客に協力を仰ぐ。

組合:モニター故障時はどうするのか。

会社:全くダメなら車掌を乗せる。不可能なら取り込みとなる。

組合:車椅子対応はどうするのか。

会社:これまで通りである。

組合:バリアフリー値上げしている。駅員いない・車掌いないではサービス低下だ。サービス向上すべきだ。

組合:4両編成でのドア扱いは全車扱いか。

会社:そうである。

組合:2両編成ワンマンも全車扱いになるのか。

会社:運賃逋脱の観点からこれまで通り全車扱いはしない。

組合:運転士のドア扱い誤りに繋がる。なにより乗客が混乱する。

会社:適切に周知していく。

組合:各線区のワンマン列車の比率はどうなるのか。

会社:関西線 優等列車・快速みえを除く	現在3割—10割
武豊線	現在5割弱—10割
東海道線(大垣～米原)	現在0割—5割 (直通列車あるため)
東海道線(豊橋～浜松)	現在0割—10割

組合:車掌業務が大幅減となる。社員運用の変更もあるのか。

会社:車掌の配転は発生する。雇用は守る。

組合:現場ではいろんな噂がでている。不安にならないような施策をすること。

組合:説明を受けたが運転士の負担増は不可避である。ワンマン列車の労働時間を見直すとか手当増とかすべきである。安全面での問題もあるので改めて申し入れする。

以 上